

平成 29年 4月

都市計画マスタープラン見直し及び立地適正化計画策定に向けた説明資料

新しいまちづくり計画をつくりまします。

室蘭市は、人口減少や少子高齢化が進んだ社会であってもコンパクトで暮らしやすく持続可能なまちづくりを進めるため、新しいまちづくり計画を策定（都市計画マスタープラン見直し及び立地適正化計画策定）することとしました。以下にその概要についてご説明いたします。

2040年（23年後） 室蘭の人口はどうか？

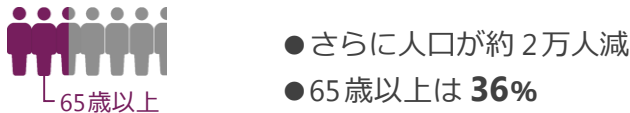
1970年／16.2万人



現在／8.6万人



2040年／6.4万人

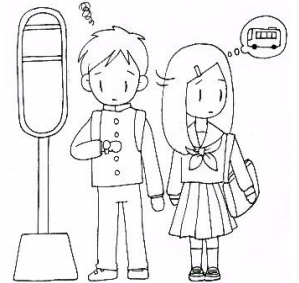


人口が減少すると 私たちの身近な生活に 影響が・・・

例えば、自宅近くのスーパー、コンビニなどがなくなり、買い物に不便になってしまうかもしれません。



例えば、バスの路線や本数が減って、公共交通が利用しづらくなってしまうかもしれません。



では、これから何をすべき？

人口の減少は全国的なことであり、もう止めることはできません。

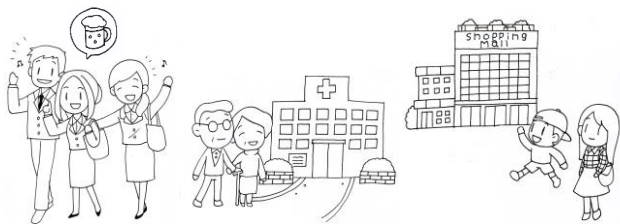
私たちにできることは、市民・民間と行政が共に手をとりあい、この人口減少社会に合わせた新しいまちづくりに取り組んでいくことです。（裏面に続きます）

立地適正化計画を策定し、住む場所を特徴づけ

そこで室蘭市は、私たちの「住まい」と「生活に必要な施設」の「場所」を考える新しいまちづくり計画「立地適正化計画」を策定することとしました。立地適正化計画では、私たちの住む場所を主に3つの区域に分けてそれぞれ特徴あるまちづくりを進めます。

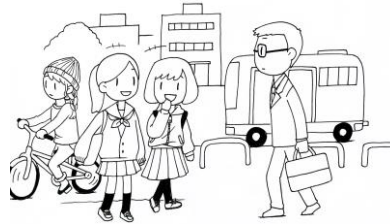
としきのうゆうどうくいき 都市機能誘導区域

室蘭の「生活拠点となる場所」に、商業施設や病院など生活に必要な施設を誘導し、都市型の歩いて暮らせるまちづくりを目指します。



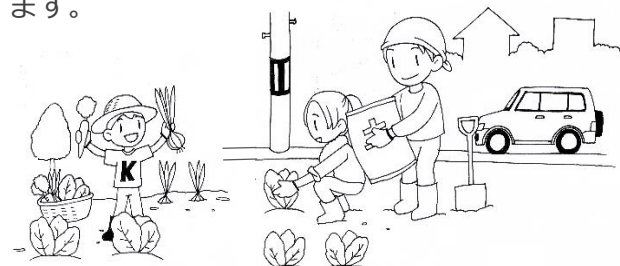
きよじゅうゆうどうくいき 居住誘導区域

市民の居住を誘導し、公共交通を利用できるなど便利・快適に住み続けられる、居住に適したまちづくりを目指します。

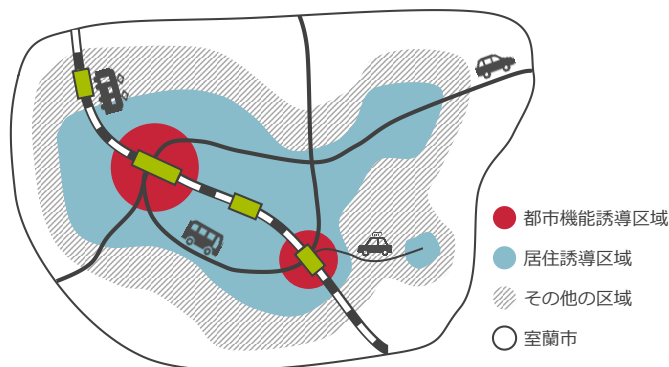


その他の区域

空き地や空き家を活用しながら、広々とゆつくりとした生活ができるまちづくりを目指します。



区域のイメージ図



市民・民間のみなさんができること

計画をつくっただけでは私たちの生活はあまり変わりません。大事なのは市民・民間のみなさんがご自身や将来の子供達の住む場所のことを考えたり、まちなかで事業を起こしたり、さまざまなまちづくりに取り組んだりすることです。室蘭市はそれらを計画や施策でサポートしていきます。

今後のスケジュール

今後、新しいまちづくり計画の策定に向けて、市民アンケートや住民説明会などにより、市民・民間のみなさまとの対話を進めていきますので、市民・民間・行政、室蘭一丸となって未来の室蘭のまちづくりについて考えていきましょう。

平成 29 年度

- 市民アンケート
- 分析、区域設定の検討
- 住民説明会

平成 30 年度

- 住民説明会
- 立地適正化計画策定

平成 31 年度

- 市民ワークショップ
- 都市計画マスタープランの見直し